

digicom

ETHERNET FADER UNIT for MTX/MRX

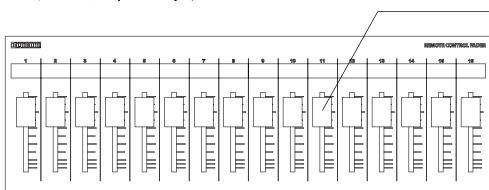
LF08M / LF16M / LF24M

取扱説明書

==== LFシリーズの特徴 =====

LF08M/LF16M/LF24Mはヤマハ社の「MTX3/MTX5-D/MRX7-D」に対応した設備用コントローラーです。入力/出力のフェーダー設定をディップスイッチにて切り替えることができます。

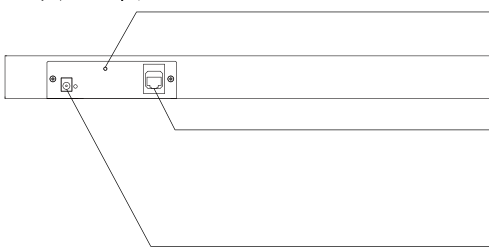
■フロントパネル



フェーダー

LF08Mは8ch、LF16Mは16ch、LF24Mは24ch分のボリュームコントロールができます。ボトムパネルにあるDIPスイッチでコントロールする信号を切り替えることができます。

■リアパネル



M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

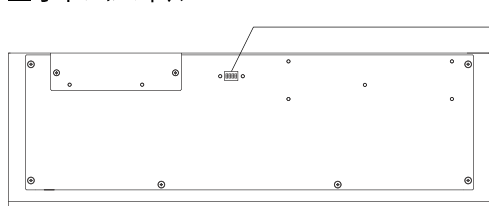
RJ45端子

MTX/MRXのコントロールデータを出力します。

DC IN端子

付属品のACアダプターを接続してください。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

MTX/MRXのコントロール信号を切り替えます。コントロール設定一覧はP2をご参照ください。

IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-MフェーダーのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。初期設定でIPアドレス192.168.0.1のMTX/MRXのをコントロールすることができます。LFフェーダーのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先MTX/MRXのIPアドレスを変更する場合は弊社までお問合せください。

サイズ

LF08M	W225 x H36 x D132	1.1kg
LF16M	W410 x H36 x D132	2.3kg
LF24M	W610 x H36 x D132	3.4kg

仕様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:49280
電源電圧	:9V / 260mA (LF08M) 9V / 300mA (LF16M) 9V / 340mA (LF24M)
付属品	:ACアダプター
塗装	:黒

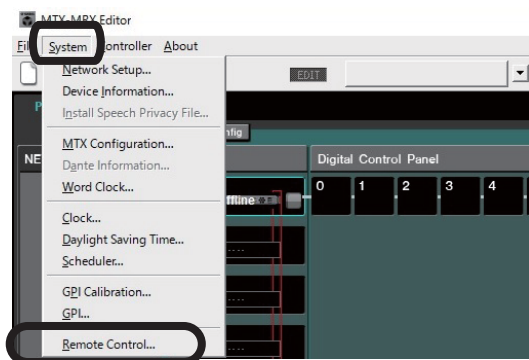
DIPスイッチ設定 (MTX/MRXコントロールリスト)

LF08M	LF16M	LF24M
CH1~8	CH1~16	CH1~24
CH1~6,ST1,ZONE1	CH1~8,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,ZONE1,ZONE3,ZONE5	CH1~16,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,ZONE1,ZONE3,ZONE5
CH1~6,ST1,DCA1	CH1~8,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,DCA1,DCA2,DCA3	CH1~16,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,DCA1,DCA2,DCA3
CH1~6,EFF1,DCA1	CH1~8,DCA1~6,EFF1,DCA1	CH1~16,DCA1~6,EFF1,DCA1
CH1~5,EFF1,DCA1,DCA2	CH1~8,DCA1~5,EFF1,DCA1,DCA2	CH1~16,DCA1~5,EFF1,DCA1,DCA2
DCA1~8	CH1~8,DCA1~8	CH1~16,DCA1~8
DCA1~7,DCA1	CH1~8,DCA1~7,DCA1	CH1~16,DCA1~7,DCA1
DCA1~6,DCA1~2	CH1~8,DCA1~6,DCA1~2	CH1~16,DCA1~6,DCA1~2
DCA1~5,DCA1~3	CH1~8,DCA1~5,DCA1~3	CH1~16,DCA1~5,DCA1~3
DCA1~4,DCA1~4	CH1~8,DCA1~4,DCA1~4	CH1~16,DCA1~4,DCA1~4
DCA1~3,DCA1~5	CH1~8,DCA1~3,DCA1~5	CH1~16,DCA1~3,DCA1~5
DCA1~2,DCA1~6	CH1~8,DCA1~2,DCA1~6	CH1~16,DCA1~2,DCA1~6
DCA1,DCA1~7	CH1~8,DCA1,DCA1~7	CH1~16,DCA1,DCA1~7
DCA1~8	CH1~8,DCA1~8	CH1~16,DCA1~8

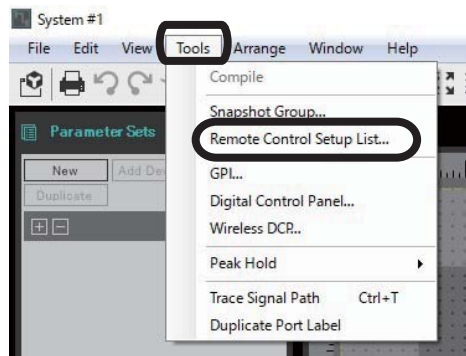
※細字はINPUTチャンネルのコントロール、太字はOUTPUTチャンネルのコントロールとなります。

MRX使用時はDIPスイッチの設定を1234全てOFFに設定してください。
フェーダー1chから順にMRXフェーダーファンクション1をコントロールします。

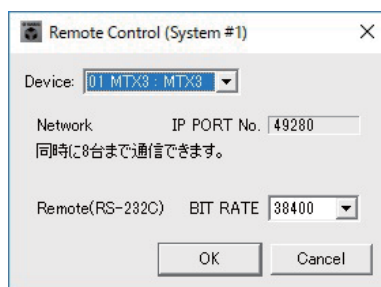
MTX/MRXの設定方法



①MTX Editorを起動しSystemタブからRemote Controlをクリックします。



③制御するMRXのコンポーネント画面を開きメニューバーのToolsからRemote Control Setup listを選択します。

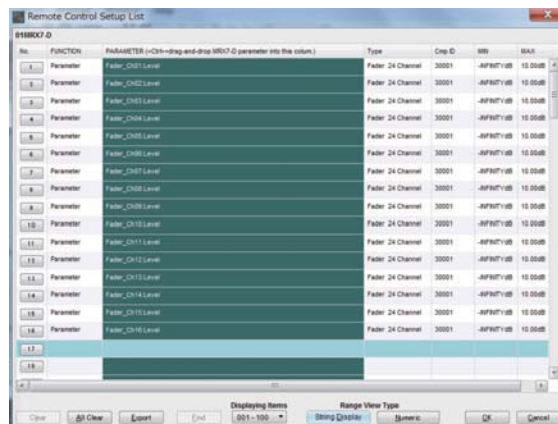


②機器が複数台接続されている場合はリモートコントロールしたいMTX/MRXのIPアドレスを192.168.0.1に設定し、DeviceのIP PORT No.49280に設定してください。

IPアドレスを192.168.0.1から変更する場合はMTX/MRXの取扱説明書をご参照ください。

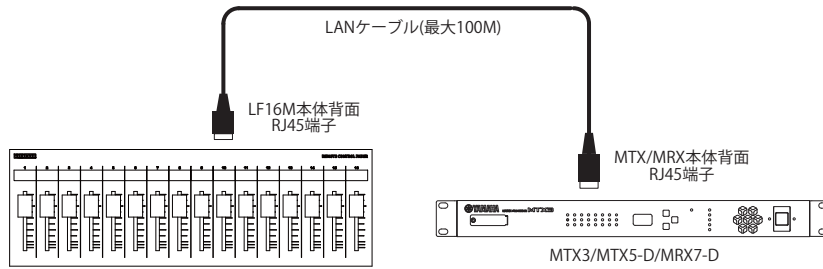
またMTX/MRXのIPアドレスを変更されますと、LFフェーダーのコントロール先のIPアドレスを変更する必要があります。その場合は弊社までお問合せください。

MTXの場合は以上で設定完了ですが、MRXの場合は③④の設定が必要となります。

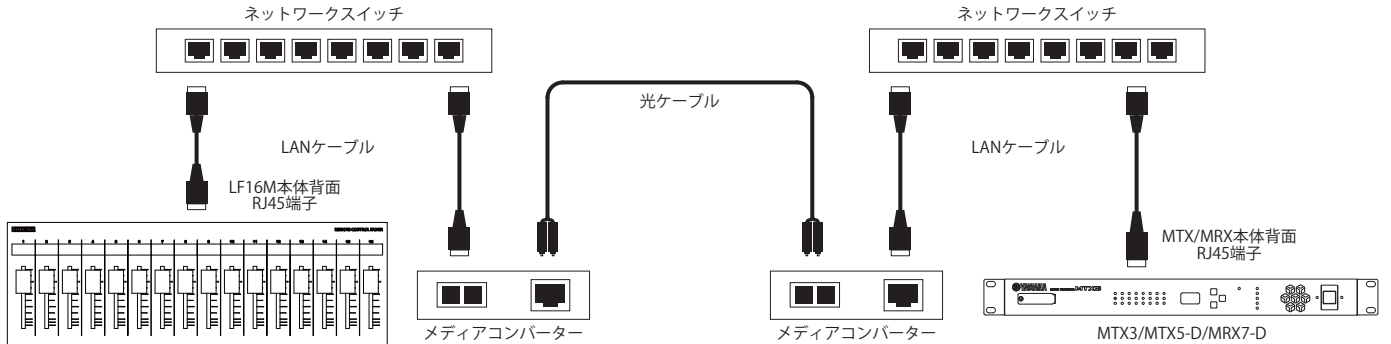


④制御したいパラメーターをアサインし、OKを押します。
上記画像はフェーダーコンポーネント16ch分のレベルをLFフェーダーにアサインした例です。

■基本接続



■光ケーブルを使用した基本接続

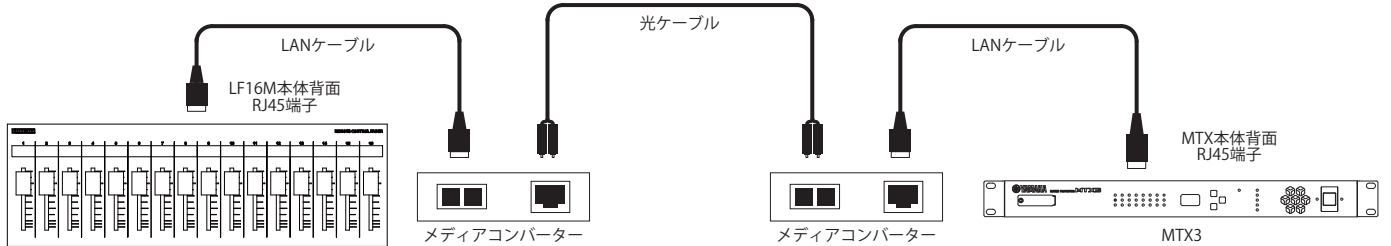


LF-MTX/MRXを光ケーブルで接続する際は、上記接続例の様にLF側、MTX/MRX側の両側にネットワークスイッチとメディアコンバーターをご使用下さい。

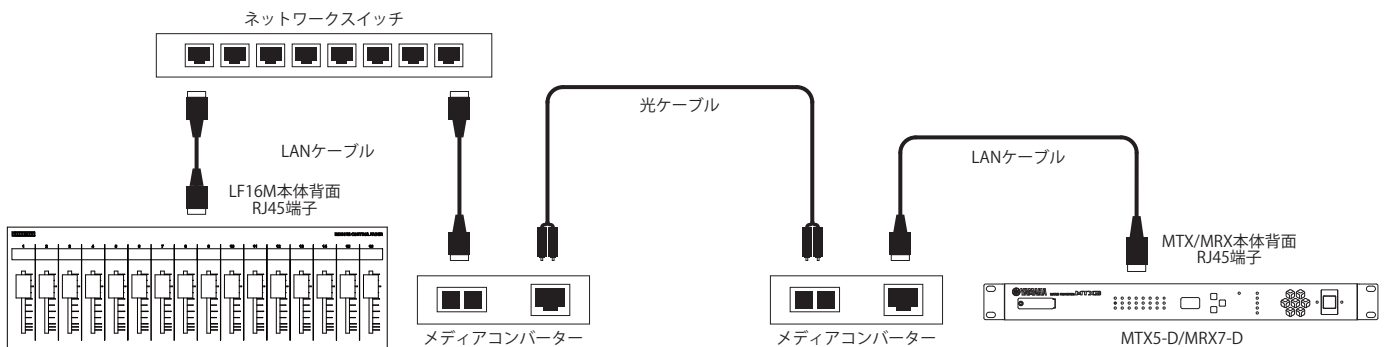
ネットワークスイッチとメディアコンバーターを、光端子付ネットワークスイッチに置き換えて使用する事も可能です。

以下は、例外として動作可能な接続例です。

■光ケーブルを使用したその他の接続例 (MTX3のみ)



■光ケーブルを使用したその他の接続例 (MTX5-D/MRX7-Dのみ)



動作検証済機器 メディアコンバーター: FiberPlex TD-6010

光端子付ネットワークスイッチ: digicom REDLink10(光端子はオプション), FiberPlex TIS-8632(光モジュール別売)

■商品に関する注意事項

- 持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
- 水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
- 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
- ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
- 機材を引き出した状態で下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
- D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
- 万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されておりますので、保証書は添付されておりません。万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社デジコム.

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15
 TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386
 E-Mail:info@e-digicom.co.jp
 http://e-digicom.co.jp/

digicom